

平成 15 年度試験研究成果書

区分	普及	題名	極晩抽性で萎ちょう病に強い6~7月播きほうれんそう品種「晩抽銀河 21」		
「晩抽銀河 21」は極晩抽性で萎ちょう病にも強いいため、夏期でも安定した収量が期待できる。					
キーワード	ほうれんそう	品種	耐病性	県北農業研究所 産地育成研究室	

1 背景とねらい

本県におけるほうれんそう栽培は、雨よけハウスによる夏秋どりが盛んであるが、連作による土壌病害の増加や、抽だいなどにより生産が不安定である。現在は萎ちょう病耐病性が比較的強い「アクティブ」が作付けされているが、6月播種作型では抽だいが発生しやすく、葉色が薄いことが問題となっている。そこで、抽だいしにくく、萎ちょう病にも耐病性を有する品種の選定を行った。

2 成果の内容

(1) 来歴

「西洋系」×「東洋系」の剣葉系 F1 品種。株式会社サカタのタネが平成 13 年に発表。

(2) 特性概要

「晩抽銀河 21」は極晩抽性で萎ちょう病にも強いいため、夏期でも安定した収量が期待できる。

ア 生育日数は「アクティブ」と同程度かやや長い(表 1)。

イ 葉数が少なく、調製重は「アクティブ」よりやや軽いものの、A 品収量が多い(表 1、図 1)。

ウ 葉色は「アクティブ」より濃い(表 1)。

エ 草姿は立性である(表 1)。

オ 極晩抽性である(表 1)。

カ 萎ちょう病による株落ち率が低い(表 2)。

キ 食味は「アクティブ」と同程度である(表 3)。

ク ベと病レース 1、3、4 に抵抗性、5 に耐病性を有する。

3 成果活用上の留意事項

(1) 第 1・2 葉がやや長いいため、機械調製をする場合は、押えロールの設定に留意が必要である(表 4、平成 15 年度研究成果 「ほうれんそう品種の調製機適応性判定指標」)。

(2) 萎ちょう病に強い品種ではあるが、土作りや栽培管理の基礎技術の励行に努める。

(3) 収量性の高い品種ではないので、抽だいや萎ちょう病の発生が問題となる圃場での使用とし、これ以外の圃場や適応作型以外での播種は避ける。

4 成果の活用方法等

(1) 適応地帯又は対象者等

ア 適応地帯 県下全域

イ 適応作型 6~7月播種作型

ウ 対象者 雨よけほうれんそう栽培農家 (抽だい・萎ちょう病発生圃場)

(2) 期待する活用効果

ア 抽だいや萎ちょう病による株落ちが少ないため、収量が安定する。

イ 普及見込み面積 60ha

5 当該事項にかかる試験研究課題

(880) 地域適応性に優れた品種の選定(H14~H16、県単)

(1000) ほうれんそうの品種選定(H14~H16、県単)

6 参考資料・文献

7 試験成績の概要(具体的なデータ)

表1 収穫時の生育と品質

播種日	品種名	収穫日 (月日)	草丈 (cm)	調製重 (g)	葉数 (枚)	葉色 (SPAD)	草姿 注1)	可販収量 (kg/a)	注2)		抽だい 発生割合(%)	
									A品	B品		
H14	アクティブ プリウス 晩抽銀河21	6/13	26.7	21.5	10.9	35.2	4.0	224.3	224.3	0.0	0	
		6/15	26.7	26.1	13.8	37.6	4.0	272.3	257.7	14.7	40	
		6/13	26.8	18.8	9.3	38.6	4.0	195.8	195.8	0.0	0	
	6/14	アクティブ プリウス 晩抽銀河21	7/12	26.4	16.5	11.2	28.9	-	120.1	111.7	8.4	100
			7/15	26.6	22.7	14.5	30.9	-	177.4	130.2	47.2	100
			7/12	26.5	13.7	9.3	33.1	-	142.6	142.6	0.0	0
	7/15	アクティブ 晩抽銀河21	8/12	26.6	18.5	12.0	32.6	4.0	192.3	192.3	0.0	0
			8/13	26.6	19.0	11.9	37.0	5.0	197.7	197.7	0.0	0
8/13	アクティブ 晩抽銀河21	9/9	26.9	14.4	10.2	32.6	4.0	149.7	149.7	0.0	0	
		9/10	26.3	12.5	9.3	33.7	4.0	130.5	130.5	0.0	0	
H15	5/15	アクティブ プリウス 晩抽銀河21	6/15	26.6	19.0	13.6	39.8	3.0	198.3	198.3	0.0	10
			6/17	25.2	24.6	16.9	42.1	3.0	256.3	256.3	0.0	35
			6/15	26.9	18.8	11.2	43.4	4.0	195.7	195.7	0.0	0
	6/16	アクティブ プリウス 晩抽銀河21	7/14	26.5	14.7	10.9	31.3	3.5	152.6	129.9	22.7	75
			7/16	25.6	16.9	12.1	37.1	3.0	175.6	175.6	0.0	65
			7/15	26.6	10.7	8.5	33.7	3.0	111.7	111.7	0.0	0
	7/16	アクティブ 晩抽銀河21	8/12	27.7	14.8	10.3	29.7	4.0	153.9	45.1	108.8	95
			8/12	28.3	12.5	9.2	31.8	4.0	130.4	130.4	0.0	0
	8/13	アクティブ 晩抽銀河21	9/12	26.6	16.2	10.7	31.5	3.0	168.5	168.5	0.0	0
			9/10	25.4	9.7	8.7	32.6	3.0	100.9	100.9	0.0	0

注1)草姿: 5 立性~3 中間~1 開帳性の5段階評価

注2)可販収量:a当りA品収量+a当りB品収量(A品収量:a当り花茎長2cm以内株数×平均調製重

B品収量:a当り花茎長2~4cm以内株数×平均調製重)

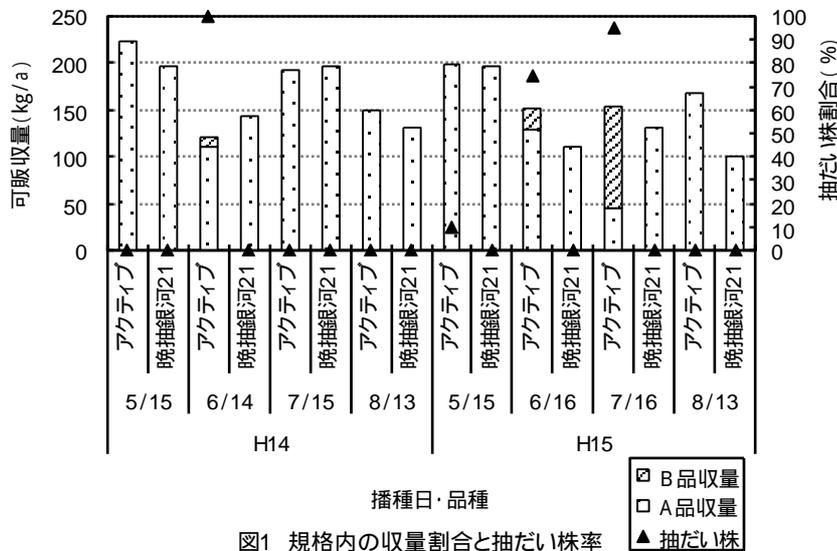


図1 規格内の収量割合と抽だい株率

表2 菱ちょう病耐病性H15 7月28日播種 軽米町 菱ちょう病発生圃場

品種	出芽率 (8月11日調査)		菱ちょう病株率 (8月25日調査) (%)
	出芽率(%)	枯死率(%)注1)	
アクティブ	87.8	11.9	20.5
プリウス	92.5	12.0	38.8
晩抽銀河21	81.2	2.9	5.7

注1)枯死株率は菱ちょう病、その他の病害を含む

表3 食味官能試験(平成14年 県北農業研究所)

品種名	香り	味	歯切れ	総合	備考
晩抽銀河21	0.000	0.000	0.263	0.000	基準:アクティブ パネラー数:19 8月23日 AM12:00

注1)評価方法:標準品種を0とし、-2 劣る~0 同程度~2 優れるの5段階評価とした

注2)5%水準で有意差なし

表4 ほうれんそう調製機適性 (H15 8月13日播種 9月11日調査 供試機械:株っこクリーナーNC300)

品種	供試作物条件			開き角度(°)		葉長(cm)		損傷株率 (%)注2)
	草丈(cm)	全重(g)	調製重(g)	第1・2葉間	第3・4葉間	第1・2葉	残存株率(%)注1)	
アクティブ	26.5	17.6	13.9	95.0	28.0	16.5	13.3	15.6
晩抽銀河	26.6	15.2	11.1	54.0	26.0	19.0	42.9	11.4

注1)残存株率:調製後の第1・2葉の残存株数÷供試株数

注2)損傷株率:調製後の第3葉以上の損傷株数÷供試株数